



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 内海造船株式会社
 コード番号 7018 URL <https://www.naikaizosen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 耕作
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡野 浩
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0845-27-2111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,721	27.4	164	45.8	108	60.8	82	59.4
2019年3月期第2四半期	12,339	13.9	303	100.9	276	156.2	204	94.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 63百万円 (77.7%) 2019年3月期第2四半期 285百万円 (149.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	48.93	
2019年3月期第2四半期	120.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	32,566	7,963	24.5
2019年3月期	32,397	7,951	24.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,963百万円 2019年3月期 7,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				30.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	30.3	500	11.6	400	5.3	300	1.9	176.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,253,000 株	2019年3月期	2,253,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	557,632 株	2019年3月期	557,632 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,695,368 株	2019年3月期2Q	1,695,418 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しなどが続くなかで、円高や外需の減速等により製造業を中心に輸出が減少するなど企業収益の回復には鈍化が見られました。世界経済におきましては、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題の影響、中東情勢の緊迫化など、経済情勢の不安が高まり、先行き不透明感が強まっている状況にあります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は157億21百万円（前年同四半期比27.4%増）、営業利益は1億64百万円（前年同四半期比45.8%減）、経常利益は1億8百万円（前年同四半期比60.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円（前年同四半期比59.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	船舶事業				
売上高	15,445	577	16,023	△301	15,721
セグメント利益	671	6	678	△514	164

(注) セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

①船舶事業

新造船におきましては、短期的には海運市況の回復はみられませんが、新造船供給過剰の状態は継続しており、船価の回復には至っていません。

改修船におきましても、修繕費用の抑制により、国内及び国外造船所との熾烈な競争を余儀なくされ、採算面において厳しい状況となりました。

また、資機材価格が上昇傾向にある一方、船価の回復が遅れていることにより、採算面において厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の船舶事業全体の経営成績につきましては、売上高154億45百万円（前年同四半期比27.9%増）、セグメント利益6億71百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。受注につきましては、新造船3隻（フェリー）、修繕船他で144億3百万円を受注し、受注残高は、新造船20隻他で681億7百万円となりました。

②その他

陸上・サービス事業につきましては、公共・民間設備投資は、緩やかに増加しており、個人消費についても持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高5億77百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益6百万円（前年同四半期比32.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)	増減
総資産	32,397	32,566	169
負債	24,445	24,602	156
純資産	7,951	7,963	12

総資産は、前連結会計年度末の323億97百万円から1億69百万円増加し、325億66百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金、流動資産のその他に含まれる未収消費税が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末の244億45百万円から1億56百万円増加し、246億2百万円となりました。

これは主に、前受金が減少したものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末の79億51百万円からほぼ同水準で推移し、79億63百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきまして、現時点においては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の業績に変動を与える事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,486	12,267
受取手形及び売掛金	8,721	7,764
商品	1	3
仕掛品	308	393
原材料及び貯蔵品	149	176
その他	1,262	575
貸倒引当金	△7	△11
流動資産合計	20,922	21,169
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,838	1,779
構築物(純額)	1,182	1,145
機械装置及び運搬具(純額)	1,006	1,039
土地	4,701	4,701
その他(純額)	393	398
有形固定資産合計	9,122	9,064
無形固定資産		
その他	241	222
無形固定資産合計	241	222
投資その他の資産		
投資有価証券	2,029	1,987
退職給付に係る資産	40	93
その他	127	115
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	2,110	2,109
固定資産合計	11,474	11,396
資産合計	32,397	32,566

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,459	7,508
短期借入金	3,635	3,940
未払費用	884	905
未払法人税等	37	29
前受金	4,969	3,793
船舶保証工事引当金	115	76
工事損失引当金	209	163
その他	246	242
流動負債合計	17,557	16,659
固定負債		
長期借入金	4,600	5,720
再評価に係る繰延税金負債	802	802
退職給付に係る負債	1,260	1,198
資産除去債務	71	71
その他	154	150
固定負債合計	6,888	7,943
負債合計	24,445	24,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	6,287	6,319
自己株式	△2,016	△2,016
株主資本合計	6,142	6,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294	265
土地再評価差額金	1,585	1,585
退職給付に係る調整累計額	△71	△61
その他の包括利益累計額合計	1,808	1,788
純資産合計	7,951	7,963
負債純資産合計	32,397	32,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,339	15,721
売上原価	11,443	14,945
売上総利益	896	776
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	168	170
その他	424	441
販売費及び一般管理費合計	593	611
営業利益	303	164
営業外収益		
受取配当金	10	10
為替差益	17	0
受取地代家賃	9	9
その他	2	2
営業外収益合計	40	21
営業外費用		
支払利息	47	45
支払保証料	5	23
その他	13	8
営業外費用合計	67	78
経常利益	276	108
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	3	7
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	6	7
税金等調整前四半期純利益	270	100
法人税、住民税及び事業税	73	1
法人税等調整額	△7	15
法人税等合計	66	17
四半期純利益	204	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	204	82

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	204	82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△29
退職給付に係る調整額	12	9
その他の包括利益合計	81	△19
四半期包括利益	285	63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285	63
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

2020年3月期第2四半期決算の概要

1. 当第2四半期の業績について

当第2四半期は下表のとおり、前期に比べて、個別、連結とも増収減益の決算となった。(百万円未満切捨て)

区 分			前第2四半期 (A)	当第2四半期 (B)	比 較 (B-A)
売 上 高	個 別	船 舶 事 業			
		新造船	(10隻) 10,480	(12隻) 13,985	(2隻) 3,504
		改修船	(45隻) 1,261	(41隻) 1,341	(Δ4隻) 80
		その他	298	96	Δ201
	計	12,040	15,423	3,383	
	陸上・サービス事業	43	43	Δ0	
	計	12,084	15,466	3,382	
	連 結 子 会 社	船舶事業	32	22	Δ10
		陸上・サービス事業	223	232	9
		計	255	254	Δ0
連 結	船舶事業	12,072	15,445	3,372	
	陸上・サービス事業	267	275	8	
	合計	12,339	15,721	3,381	

(注)個別・連結売上高の増収要因は、新造船の売上対象船の隻数が2隻増加(10隻→12隻)したため。

(百万円未満切捨て)

区 分			前第2四半期 (A)	当第2四半期 (B)	比 較 (B-A)
損 益	営 業 利 益	個 別	308	157	Δ151
		連 結	303	164	Δ138
	経 常 利 益	個 別	282	101	Δ180
		連 結	276	108	Δ168
	四 半 期 純 利 益	個 別	208	79	Δ128
		連 結	204	82	Δ121

(注)個別・連結の減益要因は、新造船の売上対象船の隻数が2隻増加(10隻→12隻)したものの、前年に比べ収益性の低い船の売上があったため。

2. 船舶事業の受注状況について

新造船においては、短期的には海運市況の回復がみられたものの、新造船供給過剰の状態は継続しており、船価の回復には至っていない。改修船においても、修繕費用の抑制により、国内及び国外造船所との熾烈な競争を余儀なくされ、採算面において厳しい状況となった。

また、資機材価格が上昇傾向にある一方、船価の回復が遅れていることにより、採算面において厳しい状況となった。

このような状況のもと、受注については、新造船3隻(フェリー)、修繕船他で144億3百万円を受注し、受注残高は、新造船20隻他で681億7百万円(前年同期比 27.3%増)となった。

3. 2020年3月期の業績予想について

通期の業績予想について、現時点においては、2019年5月10日に公表した業績予想からの変更はない。

なお、今後の業績に変動を与える事象が生じた場合には、速やかに開示する。

(単位:百万円)

区 分	通期(予想)	
	個 別	連 結
売 上 高	35,500	36,000
営 業 利 益	500	500
経 常 利 益	400	400
当 期 純 利 益	300	300

4. 2020年3月期の配当予想について

配当予想については、現時点においては、2019年5月10日に公表した配当予想からの変更はなく、1株当たり30円の期末配当を予定している。

(おわり)